

作成日	令和2年10月6日
担当部課	健康福祉部福祉課
課長名	前田 孝章
担当班	総務高齢班

事業名	敬老長寿祝金事業		
事業実施期間	平成 17 年度	～	令和 年度

総合計画における位置づけ	事業コード( 01030404 )	予算科目	予算コード( 01030104 )
基本方針	暮らしと安心	会計	一般会計
政 策	地域福祉・高齢者福祉	款	民生費
施 策	就労と生きがいつくり	項	社会福祉費
具体的な取り組み	その他	目	老人福祉費

1	事業の対象（何を、誰を）	事業の意図(目的)（どういう状態にしたいのか）
	80歳、88歳、100歳到達者	高齢者に対して敬老の意を表し、その長寿を祝福するため、敬老祝金及び長寿祝金を贈呈し、もって福祉の向上に資する。
	事業内容(令和 元 年度)(事業の意図を実現するために何を行うのか)	令和 2 年度の変更点
事業の目的・内容	①敬老祝金の贈呈 対象者(80歳、88歳)の年度到達者に対し、9月頃通知を発送し、窓口にて贈呈を行う。(80歳6,000円、88歳10,000円) ②長寿祝金の贈呈 対象者(100歳)の年齢到達時に対象者を訪問し、祝金、顕賞状、花束を贈呈する。(祝金80,000円、花束3,000円)	①敬老祝金の贈呈 贈呈方法を窓口受取りから口座振込へ変更した。 ②長寿祝金の贈呈 変更なし
	実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他	

2	事業の成本			全体計画	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
		事業費 (千円)				9,793	8,595	10,013
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			9,793	8,595	10,013	10,149	
人件費 (千円)	積算	従事職員数 (人)	—	0.2	0.2	0.2	0.3	
	職員給単価 (千円)	—	6,237	6,194	6,253	6,232		
	合計 (千円)			11,040	9,834	11,264	12,019	

3	事業目標及び目標達成の状況	活動指標(事業内容や事業量)		単位	(最終)令和 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
		指標名	敬老長寿祝金支給者数	目標 a	人		972	880	884
		実績 b	人		900	869	896		
		達成率 b/a	%	#DIV/0!	92.6	98.8	101.4		
	説明	(目標値の根拠や算定方法)			(令和 元 年度の目標達成状況)				
		対象者を目標値とする。			転入等で目標値を上回る数の対象者へ祝金を贈呈した。				
	指標名	100歳の人数	目標 a	人		17	13	27	33
			実績 b	人		13	13	21	
			達成率 b/a	%	#DIV/0!	76.5	100.0	77.8	
	説明	(目標値の根拠や算定方法)			(令和 元 年度の目標達成状況)				
		対象者を目標値とする。			死亡、転出等で予定していた人数よりも減少した。				
	指標名	敬老長寿祝金支給者数	目標 a	人		972	880	884	935
			実績 b	人		900	869	896	
			達成率 b/a	%	#DIV/0!	92.6	98.8	101.4	
	説明	(目標値の根拠や算定方法)			(令和 元 年度の目標達成状況)				
		該当者へ確実に贈呈することで、高齢者の福祉の向上に資する、			転入等で目標値を上回る数の対象者へ祝金を贈呈した。				
	指標名	100歳の人数	目標 a	人		17	13	27	33
			実績 b	人		13	13	21	
			達成率 b/a	%	#DIV/0!	76.5	100.0	77.8	
	説明	(目標値の根拠や算定方法)			(令和 元 年度の目標達成状況)				
		該当者へ確実に贈呈することで、高齢者の福祉の向上に資する、			死亡、転出等で予定していた人数よりも減少した。				

事業名		敬老長寿祝金事業		
		視 点	評 価	説 明
4	事業の必要性	① 当初目的の達成や事業を取り巻く社会経済情勢等の変化により、事業の必要性が薄れていないか	薄れている ← いない → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/>	高齢者に対して敬老の意を表し、高齢者の福祉の向上に資するため、事業を実施する必要がある。
		② 民間(公的団体やNPO含む)に移管・委譲することが適当(可能)ではないか	適当 ← 不適當 → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/>	個人情報を扱うため、引き続き市が事業を実施する必要がある。
	事業の効率性	③ コスト(費用や業務量)に見合う、活動結果(事業量)が得られているか	得られていない ← いる → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/>	祝金を贈呈する事業であり、活動結果は見えにくいですが、高齢者の福祉に貢献している。
		④ 同じコストでより大きな活動結果(または、より少ないコストで必要な活動結果)が得られる手法が考えられないか(事業の進め方)	考えられる ← られない → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/>	対象者や贈呈金額の見直し等を再度検討する必要がある。
		⑤ 民間(公的団体やNPO含む)との協働(共催、委託、補助等)を進め、より効率的に実施できないか	できる ← できない → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/>	個人情報を扱うため、引き続き市が事業を実施する必要がある。
	事業の有効性	⑥ 目的(成果指標)を達成するため、有効な事業内容となっているか	なっていない ← いる → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/>	敬老の意を表し、福祉の向上に資する目的は達成しているが、成果が見えにくい。
		⑦ 同じコストでより大きな成果(または、より少ないコストで必要な成果)が得られる手法が考えられないか(事業内容)	考えられる ← られない → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/>	対象者や贈呈金額の見直し等を再度検討する必要がある。
	事業の公平性	⑧ 受益者負担を見直す余地はないか(負担を課すべきではないか、負担水準を見直すべきではないか)	余地はある ← ない → 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担なし。

5	事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了 (説明) ①80歳敬老祝金について(廃止)※約500人×6,000円=300万円の減額 日本人の平均寿命が男性81.41歳、女性87.45歳と8年連続延びており、事業の目的(長寿のお祝い)に合わせて一般的な88歳、100歳を対象とする。 ②88歳敬老祝金について(現状維持) 他市の状況から勘案し、米寿の祝い年にあたり、高齢者に対して敬老の意を表すためにも適当であることから、年齢、贈呈金額とも現状維持とする。 ③100歳長寿祝金について(縮小)※約30人×30,000円=90万円の減額 他市と比較した結果、他市よりも多く贈呈している傾向にあり、一人当たり8万円から5万円へ贈呈額の減額を行う。	事業の目的としては、敬老長寿であることに対する祝い金であるため、平均寿命(R元:男性81.41歳、女性87.45歳)や近隣市の状況から80歳の支給については、見直しの時期がきていると思われる。  (事業の方向性) 縮小
		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終了 (説明) 平均寿命が延びている現状から、本事業の目的が敬老長寿であることに対する祝金であることを考慮し、担当課評価のとおり、80歳の敬老祝金を廃止する。 また、近隣市の状況も考慮し、100歳の敬老祝金を縮小とする。 なお、見直しするに当たり、必要に応じて、対象者等に対する周知を丁寧に行うこと。	財政課意見